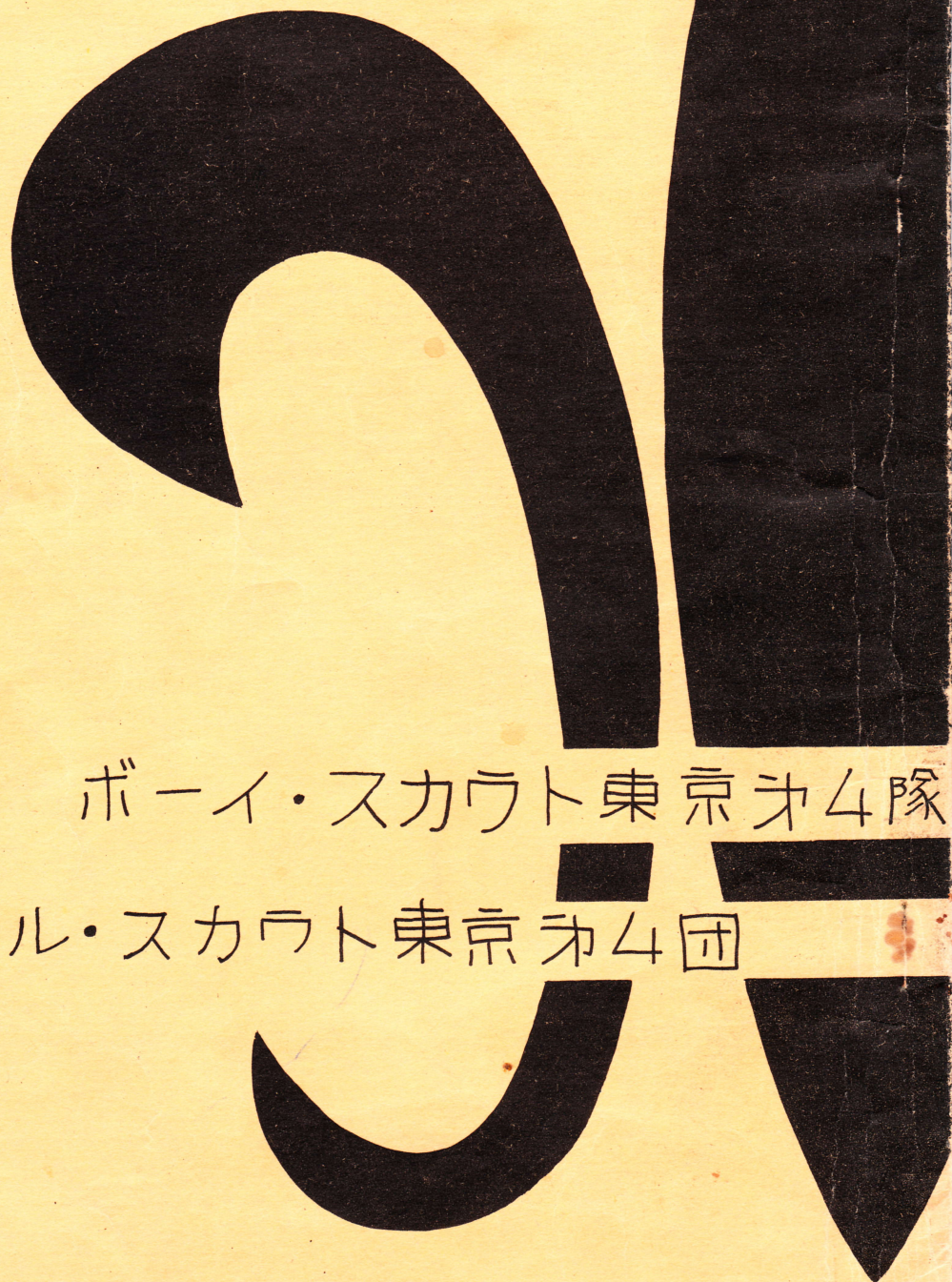


十周年記念誌



ボーイ・スカウト東京第4隊

ガール・スカウト東京第4団

1957



ちかひ

私は名譽にかけて次の三條の實行を誓います

- 一、神(佛)と国とに誠を盡し、おきてを守ります。
- 二、いつも他の人々を援けます
- 三、体をつよくし心をすこやかに徳を養います

くそくや

私は名譽にかけて

神と国とに対するつとめを行い
いつも他の人々を助け
ガール・スカウトのおきてを
守るようによろこばします。

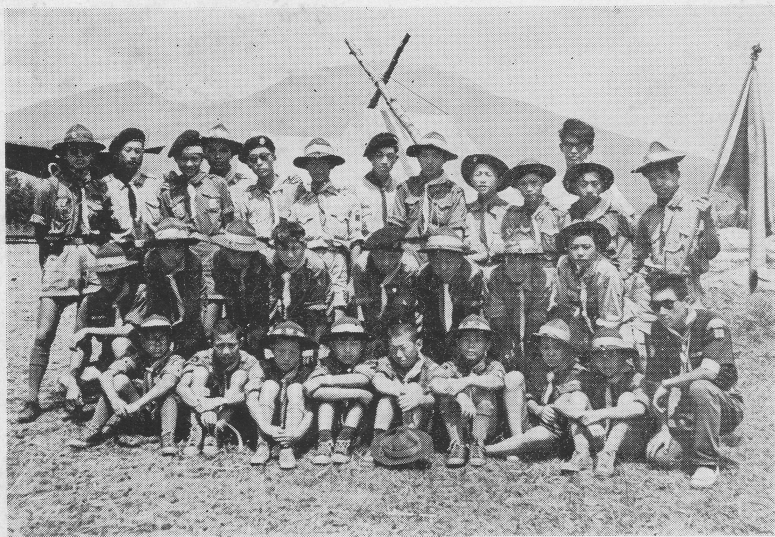
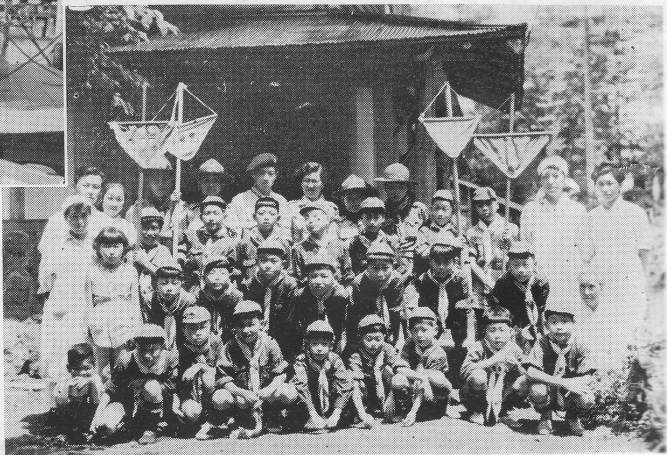
パ
ー
ス
デ
イ

(昭和二十四年)



シースカウトの訓練……隅田川にて
(昭和31年)

カブ舎営山中湖 (昭和31年)



日本ジャンボリーに参加して

―軽井沢にて―

(昭和三十一年)

く
守るよう
にいた
します。

ナル・スカウトのおきてを

朝子先生とまだ制服のなかつた G. S
(昭和二十五年)

大根組の幼いことノ



えんじのスカートにおそろいのトンガリ帽子の
かわいらしいブラウニー達(昭和三十一年初夏)

昭和三十一年四月教会での子供会の時に
G.Sは「とんち裁判」の劇をしました



いざ八ヶ岳キャンプへ！
リュックのしよい方も慣れたものです
(昭和三十一年夏)

靈南坂教會のスカウト 設立十年を感謝す

靈南坂教會牧師

小崎道雄

今から十年前、戦後乃事物質的困難の折、北米駐留軍化学部に勤務して居つたマーチン・ウィリアムス君が居つた。この人は、熱心なクリスチャンでスカウトの経験者、又信仰者で我が教會でもこの運動に参加する様にすすめた。丁度その時、今井襄二君が教會に出席して居り、スカウトに協力してくれることとなり、荒垣、志水、今田、小崎（忠雄）の諸君その他により才田隊として発足するに至つた。その後種々の変化があつたが現在では、教會学校部の下に高塚伝道師の指導協力によりガール・スカウト、シー・スカウト、カヤ、ブラウニー等合計百五十人位の隊員を有する。都内でも強力な隊となつた。

私は、昨夏、欧米旅行の際、英東ロンドンにてスカウトの国際本部を

訪問して様々の事情を聞いたが英國ではスカウトのヒロパーセントは教

私は、昨夏、欧米旅行の際、英東ロンドンにてスカウトの国際本部を

訪問して様々の事情を聞いたが英国ではスカウトのセオリーセントは教
会所屬であり、多くの教会が国の全運動の中心となつて居ることを発見
した。

元来スカウトの根本精神は基督教信仰の實踐であつて隣人への奉仕を
中心として自治、自給生活の根本になる。規律を重んじ、困難に耐え、
積極的、樂觀的に日常生活を営む基礎を修得することになるので我が国
の今日の社会教育上実に大切な事である。

願くば我が教会のスカウトが本来の使命に忠実よき成績をあげるばか
りでなく、主イエスキリストを信ずるものとして天父を敬愛しその御心
に服従し、隣人を己の如く愛する眞の奉仕精神を充分に發揮するよき教
会スカウトであることを祈つて止まない。

我がスカウト創設十年に当り天父に感謝すると共に現在関係の諸君の
上に神の祝福を祈るものであります。

ボーイ・スカウト東京オ四隊とガール スカウト東京オ四団の十星霜祭を祝して

ボーイ・スカウト日本連盟総長
三 島 通 陽

ボーイ・スカウト東京オ四隊、ガール・スカウト東京オ四団は、大戦直後の幾多の困難を克服して眞の先に生まれたと云う輝かしい伝統をもち、早くも二十十年の年月を迎えられ、愈々盛大に充実せる発展の道を進まれつつある事を心よりお喜び申し上げます。

今年は何れも、ベーデン・ポウエル郷の生誕百年、且つは、一九〇七年此の運動が発足してから五十年の祝いが世界の六十四ヶ国で行われる年であり、又、日本としては旧日本連盟が結成されて以来三十五周年、そして、戦後再建十年、又、カブ再建五周年と云う様に祝典の重なる佳き年でありますから誠に感銘の深いものかと云います。皆様も定のし創設当時の思い出が教々お有りの事と存じます。そして「スカウティングは継続する事によって成功する」と云う言葉は痛切に思ひ起すのでございます。

今は亡きローランド・フィリップと云う若きイギリスのスカウターが、一九一六年オ一次大戦に従軍して戦死する直前、フランス戦線から出した手紙に、「神はスカウティングと共にあり、スカウティングは神より生まれたり」と云う一句があります。此れによく似た言葉が聖書にあるのですが、彼は聖書にある「道」と云う字を「スカウティング」と云う表現に簡単に置き換えたのではなく、自分かスカウティングを励んでいるうちに、そして、きびしい戦火の

さなか「神」を見出した。その悦びのあまりにこれを書いたのだと思ひます。更に続けて、「故に、スカウトは怖れることなし。奉仕も犠牲も、勝利はスカウトのものなり。君たちは現在も、又、未来永遠に彌栄えに栄える。」と結んでいます。

私は皆林に此の言葉をお伝えして、前途の道しるべにして頂きたいと存じます。

今や東京オ四隊は、カブ隊、ボーイ・スカウト隊、シー・スカウト隊、それにロバートスカウトの四部門をそろえた完全なグループの形態になり、各人の年令知能と其の成長のどれにも応ずることの出来る、極めて有機的なバランスのとれる組織体になつたことは、日本に於けるスカウティングの発達史上これ又最初のことであります。その上、ガール・スカウトもあるのです。これにつきましては育成団体である豊南坂教会並びに、御父兄たちの卓見と、スカウト道に對する忠誠心の賜によるものと深く感謝申し上げます。

隊員並びに指導者の皆様、先駆のほまれ輝く隊旗のもとに、各々一人は新しき一人を呼んで来て仲間をふやし、スカウティングのよろこびを大きくしていただくよう切に望みます。自分のうけた幸福だけでは本當の幸福には足らぬ。他の人々の幸福をはかることによつて初めて本當の幸福は生まれる、と云うベーデン・ポウエル卿の言葉を思い出して下さい。私の祝詞をこれで結びます。彌栄

結成十年に寄せて

ガールスカウトオ四団初代リーダー

井野朝子

スカウト・インク」に云う表現に簡単に置き換えたのではなく、自分かスカウト・インクを励んでいるうちに、そして、きびしい黙火の

ガールスカウトオ四団初代リーダー
茅野朝子

かえりみれば過ぎ去った十年が、本当に夢のように私の脳裏には
みかえってまひります。昭和二十二年の二月にウイリアムスさんと
今井譲二さんによって、聖南坂教会にホーイ・スカウトが誕生致し
ました。それから三ヶ月ばかりたった或る日、ウイリアムスさんが
ミス・ギヤスケルと云う若い米国籍婦人をつれてこられて、この人が
ガール・スカウトをしたりといつてゐるのだが、やらぬのかと云う
ことでした。私は当時、スカウトについての知識を何も持っていま
せんでした。唯、終戦直後の人心がすさんでゐる時ですから、教会
学校での少年少女の精神的指導の傍ら、健全なグループ活動のよう
なものをしたいと夢みていましたので、何か乘しい交りかできれば
と、唯それをだけの気持で冒険的に始める決心をしたのです。まだG
S日本連盟も出来ていませんでしたので、資料は今井さんから戴い
たB・Sのものと、ミス・ギヤスケルが下さった米連盟の本を参考に
致しました。

二十二年は女学校もまだ旧制で五年生までありましたが、初め三
年生を中心に希望者をつのり、十名程で発足しました。その頃は「
約束」は英語で唱えていましたし、「おさま」B・Sのものを少し
かえてつかつていました。ミス・ギヤスケルと一緒に奥多摩にハイ
キングして飯盆炊飯をし、雷雨にあつてぐしよりぬれになつた服を
貸座敷のような処にどか込んで乾かしたりしたことも忘れられない
ことの一つです。G・S世界連盟からミス・テイウイがこられてリ
ーダーの講習会があつた時、そこで習つたフォークダンスや歌など
を団に帰つてすぐ皆でやつたり、うたつたりしたものでした。「一
人の象さん」をやつたのもその頃です。G・Sを側面から或は背後
から指導し、援助して下さつた方としては、今迄に名前をあげた方

々以外に鶴島信子先生、志水興先生、ミス・ウエンガー等が思い出
されます。又、直接私と一緒にリーダーとして働いて下さつた橋本
広子さんを初め、次々に奉仕して下さつた方々がありました。
私は自分かスカウトとしての経験がなく、最初からリーダーに
させられたので、本当に頼りないものかあつたと思ひます。それ
も集會を休まずに、ある時は五、六人のこともありましたけれど、
プログラムを作るのに努力して、どうにか続けてきました。早くス
カウト生活をしたい人達かリーダーになつて欲しいと願ひ、やう返ら
なければ本当に良いG・Sの団とならぬと思つていました。幸い
白井さん、志水さん達、その他七年以上の経験をつんで来られた人
達によつて現在の団がリードされてゐることは感謝に堪えません。
そして一昨年、私達のオ四団から日本代表を海外に送つたことは、
誠に喜ばしいことでした。結成十年に際して、私は皆様がますます
一致団結、名実共に誇る優れた団として、新しい希望を持つて進ん
で行かれることを切に祈つてやみません。

かつての隊長からお祝の辞を

今井 裏 二

東京オ四隊の皆様、設立十周年を迎えて御目出度う御座居ます
此の良き日に当り、私は心から御祝い申し上げます。と同時に大
きな声で「日本一」と叫び度いと思ひます。いいえ、此れはオセジ
ではありません。

現在、四隊におられる方々、又以前四隊にいた方々の努力に依つ
て「東京オ四隊」が今も素晴らしい発展をしながら前進してゐるの

だと思ひます。しかし、皆様が才四隊の隊員であることに、プライドを持つていなければならぬと思ひます。

プライドを持つていければ、日本一の隊になれますし立派な伝統を築くことが出来ます。それ以上に自分を築くことが出来るのです。

日本一というプライドを持つて今後努力して下さい。それでこそ皆様は立派な人になれると信じています。四隊の皆様は神と共によき世界をつくる為、生きぬきましよう。遠くから微弱ながら小学生も皆林のお元氣であることを祈つています。

十周年

おめでとー

ございませす

四団才次代リーダー

橋 本 広 子

四隊、四国のB・S・G・Sのみなさん、十周年のお誕生日おめでとーございます。月日のたつのは本当に早いものです。昭和二十二年のG・S創立の年に生れた赤ちゃんももう十才の可愛い坊や、嬢やになつてゐるのですから。

私が初めてG・Sのお任事をお手伝ひ致しましたのは、昭和二十三年、四団の創立者、その頃の小崎軒子さんの副リーダーとしてでございませす。二十六年に次の方にバトンをお渡しするまでの三年餘の間、「スカウティングはゲームである」とビバーデン・ポエル卿が云われた様に、本当に文字通り楽しいものでございませす。そして、スカウティングを通して、みなさんと共にいろいろな事を勉強さ

せて戴いたことを心から感謝しております。

本当にスカウトの日頃の訓練は、素晴らしいものをだと思ひます。あなた方にはあたりまえのことかも知れませんが、私など教会の他のお薫りに出席した時など、おしやべりをしているみんなを一言に静め様と思つてもなかなかスカウトの林にはいけません。

又、私は今だに「そなえよつねに」の言葉を自分の生活信条とし又常に「一日一善」に心掛けております。毎晩寝る前のお祈りの時今日、一日一善を實行したかしらと反省し、もしたどえ小さなことでも何かした時には子供様の喜びを感じております。

今のスカウトの方達は、本当に幸福です。現在のリーダー、志水久ちやんを始め副リーダーの方々のお名前を見ただけでも、如何にスカウトとしての楽しい訓練をされ、スカウトらしい楽しいミーンティングをしていらつしやるか想像できる程な気が致します。

又、日本G・Sも世界連盟に加盟出来た今日、特にウチの団では国際友好を大いに実施し、大活躍の御様子、嬉しく思つております。今後ますます国際親善のために盡して下さいませ。

又、昭和二十九年にはブラウニーが誕生し、スカウトから訓練に訓練を積まれた白井喜久子ちゃんが指導にあたられてゐることは、本当に頼もしい気が致します。その中、ブラウニーの中から優秀な方達をスカウトに送り出すことが出来ます様に、G・Sと共にブラウニーの今後の成長を期待しております。

では、スカウトのみなさん、世界に誇り得る様な素晴らしい四隊、四団になつて下さいませ。十周年の喜ぶべき日にあたつて、B・S・G・Sの今後のますますの後活躍と御発展を心からお祈り申し上げます。

了、スカウトリングを通して、みなさんと共にいろいろの事を勉強せ

し上げてあります。S・G・Sの今後のますますの後活躍と御発展を心から祈り申

スカウト運動の起り

一九〇九年、英国に於いて初めて、スカウト運動が発足し、後に世界的な運動として諸外国に伝えられ、一九二〇年、日本でもこの運動が初められました。こゝに、この運動の先駆者であるベーデンパウエル卿、ミスアグネス、ベーデンパウエルについて記したいと思ひます。

ベーデンパウエル卿

ロバート、ベーデンパウエルは一八五七年二月二十三日、英国のロンドンの名望家に生まれました。彼の母は三十七才で寡婦となり六人の実子と三人の継子を育て上げました。家族の会話は屢々自然、科学、絵画、工作等に及び、当時の名士ラスキン、ダーウソン、ハックスレイ等も、ベーデンパウエル家を屢々訪ねました。姉のアグネスは、蜜蜂を飼つたり、カナリヤの世話をしたリすることが好きであり、又音楽や外国語にも造詣が深く、自転車乗りも中々巧みでありました。兄弟達も揃つて多方面に豊かな才能に恵まれ、いつも他の人々を處る心の優しき家族でありました。

英軍第十三騎兵隊と共に印度に駐屯して居る時、ロバート、ベンデンパウエルは、部下の將兵は学問的な知識は充分に習得しているが、戸外の生活に應用出来る実務的な知識、技能、工夫力に欠けており、のみならず立派な兵隊としても、又立派な生涯を送る爲にも欠くべからざる性格の強さを具えていなり事に気がつきました。そこでロバートは部下に、彼自身か南阿戰爭中冒險したり、存候したりした経験や、狩猟や魚釣りに出掛けた時のこと、原住民と共に仕事をした経験を話しました。ロバートは後度も危機一髪の命拾ひをし、その同團到任注意カと鋭い観察力を身につけました。彼は凡ゆる種類の人々と協力出来、創造力豊かで、奇智に富み、忍耐強く、一流の騎手であり、スポーツを樂しみ、趣味の豊かな文字通りの一級のスカウトでありました。ベーデンパウエルは、兵士達のために彼の経験を一冊の本に書き上げ、それぞ「スカウトリングのたすけ」と題しました。その本は思ひがけず非常に評判がよかつたので、ベーデンパウエルは、スカウトリングが如何に子供達にとつて魅力があるかを知りました。一九〇七年方々で講演をする傍、ブラウン・スイ・アイランドで試験的なキャンプを催しました。この時少年達は班制度に従つて行動しました。キャンプは大成功であり、ボーイスカウトの隊は英国の方々に鏡々と結成されました。

ボーイスカウト運動が正式に始つたのは一九〇八年であります。一九〇九年ボーイ・スカウトの大회가、始めてロンドンの水晶宮で開かれた時、一萬一千人の少年が参加しました。スカウトの仕事は決して片手向で出来る仕事では無い。彼はすでにこれを彼の後半生の仕事にしようとして決心して居りました。もうこれまでに戰爭の醜さを充分なめつくし、彼の魂は平和を慕つて居りました。彼はこのオニの人生への門出を次の棟な比喩であらわして居ります。「若い頃見たサーカスマ、さんご曲馬団で使われその役目を果して後、今度は静かに落着いてパイン屋の重更さという有意義な仕事に乗り替へることも遅くはなからう」。平和なパイン屋の重更さには遂に世界的な運動になり、数百万の少

前に馬蹄型を作る。「わーい。早くしろよ。」眞直

「たなびきながら、スル／＼と揚がる。この旗は……旗揚

けの歌が流れる。続いて組長の「やくやく。ごごめ。シガ元気に始まる。「人員報告」の合図と共にデンマザーの大和さんは、出席

表がある。今日のテーマによつて離す。級別集会で月の輪ヒ、シカ、ウサギ、リスの合併組との二つに分れる様にこの発表だ。開

会式が終るや否や、デンチーフの笛が鳴る。毎週やつてゐる整列練習だ。馬蹄型、円型、組別、ヒすばやくスカウト達は動く。「番号

／＼「一、二、三……」もヒへ。「一、二、三、四……」デンチーフはスカウト達は全く一つになつてゐる。続いてスカウト

達待望のゲーム。ゲームに入つた時のスカウト達の顔はまことに嬉しそう。まず帽子取りゲームである。デンチーフの合図と共に両側

から山崎君、神谷君が出る。やはり横れた山崎君の方が上手だ。次に陣取りゲーム。こんどは小川デンチーフの担当。説明の向、スカウト達は真剣に耳を傾ける。ゲーム開始。五分もすると、皆くたく

かつた。わかつた。「こうやつて月の輪組は、もやい結び、結び結

ひ、てぐすの三つを、合併組はやさしい本結び、ハの厚結び等を各

デンチーフが教わる。さつきからデンマザーの大和さんがこちらを気にしてゐるので紅

茶が出来たらしい。デンチーフは組長が奉仕に出る。紅茶が少しあ

つりのでゲーム。銭廻しをする。「音をさせるなよ」「手をもつ

とこつちへ出せよ」ヒスカウトは懸命である。「見えたな。音がしたな。」ヒ組毎にひそ／＼話してゐる。勝負が決る頃は、お茶が丁

す。「私は良いスカウトになります。」と、井上君について皆で誓い合う。そして、未週の予定の発表が終ると仲良しの輪。カブスカウトの歌に続いて「いつも元気」で集合は終る。

「サヨナラ、気をつけて帰るんですよ。」の声に送られて、疲れを知らないスカウト達は午後四時半、それぞれの家路にむき直つて行く……。



ボーイスカウトとはどんなものか

「よく一般のみなさんに御理解をいただくために」

ボーイスカウト運動は、青少年を対象とした社会教育活動であります。簡単にその概要を説明してみましよう。

一、何をめざしているのでしょうか。

ひとこと言えば善い公民になるということです。少年がスカウトになり、「ちかひ」をたてたならば月々の生活信条ともいふべき「おきて」を守ることに努めます。スカウト相互の同志精神において国際愛と人道主義と把握し、身心共に純潔健全な国民に育て上げることを期待するものであります。

二、どんなことをするのでしょうか。

一人々の少年の自発活動により、組織的に指導が行われます。一般に子供は仲間をつくらせて行動をします。ボーイスカウトでは七八人でグループ編成をして、これを班と呼び、この班を単位としていろいろの訓育が行われます。少年同志で選んだ班長を中心に次長記録、備品、会計等の役務をグループの成員が一人々々分担し、協力して活動をします。以上を班制度とよび、ボーイスカウト教育の根本的な方法と言えましよう。それに併行して進歩制度と呼ばれる

ものがあります。各自の努力によつて、初級、二級、一級、菊、草、不二といった所定の課程に進むことができ、常に進歩向上をうながすように用意されています。又、個性、能力、興味等に依つて選抜できる技能章の制度があります。種々の有用な技能を体験することができます。それにより自分を更に深くみかくことができ、そのみにつけた技能を充分に發揮して他に奉仕をすることも初めてできるのです。しかも、これらの活動は少年たちにとつては楽しい、愉快な広い意味でのゲームをしているようなものです。キャンプ、ハイキングもそのための一つの方法といえましよう。また、ユニフォームをさそり、名譽ある徽章をつけることが許されるのもボーイスカウトの特徴といえましよう。

三、いつ行われるのでしょうか。

余暇、雨時の活用であります。子供といふものはこの間に何かすることをお求めし、あらゆる善と悪とをを行うこともできるのであります。学校のあるときは週末、休日等に集会、行事をもち、学期末の休みを利用してキャンプを始めとして種々の活動が展開されます。

四、どこで活動が行われるのでしょうか。

学校では主に教室を中心に教育がなされますが、ボーイスカウトでは野外を主に教育の場とします。大自然にいたかれキャンプをしたり、ハイキングをしたりすることはすばらしく効果的です。

通常、一つの隊はその性格により、教会、寺院、神社、学校、個人の家、公園等で集会をもち、隊や班の活動が行われます。理想的には部屋を確保することが望ましいといわれています。

五、誰が指導し、運営するのでしょうか。

所定の資格を修得した成人がこれに奉仕します。一つの隊では隊長と呼ばれるリーダーを中心に教人の指導者が協力し指導にあたります。

本格的な方法と言えましょう。それに併行して進歩制度と呼ばれる

所定の資格を修得した成人がこれに奉仕します。一つの隊では隊長と呼ばれるリーダーを中心に数人の指導者が協力し指導にあたり

ます。しかも、指導者だけでは完全な訓育は行われません。それにはゆきとびの運営育成がなされなければなりません。すなわち、父兄および理解ある人から編成される育成団体の協力、援助によつて運営が行われるのです。これを「育成会」とよびます。よつてスカウトの父兄は育成会の会員になり運営に参加していただくのです。以上いくつかの問題にふれてスカウトとはどんなものかを考えてみました。現在世界の加盟国は悉皆地イギリスを初めとして六十ヶ国をかぞえ、六百万余のスカウトが同じ目的に向つて励んでいます。そしてこの運動がますますひろまることによつて、世の中に平和をもたらしということにもなるでしょう。我が、東京第四隊は豊商坂教会の鐘樓にクラブルームをもち、教会に所屬するスカウトとして特色を持っています。いままでに四隊から多くの先輩を送り出し、職域人として実社会でスカウト精神をいかしてあげました活躍をしております。さて、みなさん栄光あるこの運動の発展にそれぞれの立場で努めようではありませんか。(飯田 記)

十年を顧みて

團委員長 志水 興

B・S・G・Sの皆さん、十周年のお誕生日おめでとうございませう。いく度この言葉をくり返したら気がすむでしょうか。それ程この年月は私にとつて、様々な想いにみだされたものなのです。いまだこそ押しもおおせぬ今田隊長も、飯田副長も、あの頃はただあやしげな手つきでロープを結んだり、火をおこしたりしてました。たつた一冊しかない、而も英文で書かれたハンドブックをかこんで、苦闘していた幾人かの姿を思い出します。今井隊長の怒鳴り

声がかこえます。ウイリアムスさんの人のいい顔もみえます。それから彼がいつも持つてきてくれたあのキーキの匂いもします。そんな頃には一方ではG・Sが、手を引かれ、腰を支えられてやつと二と歩き、歩きをしていました。通訳つきの集会なんて、今は考えられないようなことが行われていました。新聞の「青鉛筆」欄のようなどころに、ロング、スカウト、ショート、スカウト、さてカー、スカウトとはどんな型なのだろうか、などと載ったりしました。本部へは、地方から巻尺や型紙を持つて訪ねて来た人もあつたそうです。そんなことにはおかまひなく一生懸命でした。やがて自力で集会を持つてようになりました。どちらかといえば、気の小さい、遠慮がちにみえた朝子さんのどこにあんな力が、と思われる程ののどましい活躍ぶりでした。教会学校だけの教育ではどうしても不足するものをスカウト運動に求めて立ち上つた姿は尊いものでした。あぶなかつた足もどむどうやら定まり、女学校三年(今の中三)以上と聞いていたのが中二、中一からの参加も許されるようになりました。現在のリーダーや副リーダー達は、みんなその頃に生れた人々です。団と共に喜び、団と共に苦しめ、団と共に成長してきた人たちです。B・Sと同じように。経済的に行きづまつたこともありません。理解してもらえない不届きなやんだこともありました。然し、祈りと共に励まし合い、助け合い、スカウトであるが故に堪えて、ついで育つてきました。日本中のどこにこれ丈長いスカウト経歴を持つた隊長が、リーダーがあるでしょうか。又、それらの異なった場にあるから、いつもスカウトをおもひ、いつまでもスカウトであらうとしている人達をみる時、嬉しさが二みあげてきます。何代目かの指導者は、いまカブやブラウニーである幼い子供たちの

中から出てくることでしょう。心こめて大切にはぐくみましよう。
やがて二十周年、三十周年を迎える日をいまからたのしみながら
ペンをおさます。

十周年を祝して

石川 秀次

此度ボーイ・スカウト東京オ四隊が十周年を迎えられましたことを心よりお慶び申し上げます。ひとくちに十年とは云いますが、昔から云われている通り、「十年一昔」即ち、当時十代であった人は二十代に、二十代の方は三十代になつてゐるわけで、紅顔の美少年も今や社会人として活躍してゐることでしょう。特に、戦後の混乱期にスカウティングを始められたリーダー、ならぬスカウト諸君（今は立派な先輩諸兄）の努力は大変だったことと認めます。先輩諸兄等に感謝を捧げると共に、次に続く諸君等の彌栄を祈念いたします。さて、諸君は、一突差の機軸で汽車を停め、自動車と衝突する惨事を未然に防いだ小学校六年生の少年の話——の事は身に残つてゐることと想う。三多摩の出来事として、勇敢な少年のことをほめないのではいられません。諸君だったらどうですか。やつぱり彼と同じ行動が出来ますか。「スカウトは勇敢である。」もしやあの少年がスカウトだったら……そうです。あの少年はスカウトでした。そのことを三多摩の島中コミッションナーから聞きました時、思わず、僕は心の内で彌栄を繰返しました。それまでは、あゝ云う少年がスカウトでつたらなあ、と何度おもつたことでしょう。又、もしやスカウトでつたらみんなに立派で美しい行動だろうと考へていたのでした。これこそ本当の勇敢と云うものです。状況を適

確に判断し、事にあつて死なみせず敢然とレールの上を走つた。巨姿は、想像するだけでも立派な美しいものです。これも、日頃の少年のスカウティングが誠実で一生懸命努力してゐることと、立派なリーダーの指導が、大事に臨んで大人が斥込みし、まごまごしてゐる時に、大惨事を未然に防ぐ力となつて現われたのだと思ひます。諸君と共に少年に彌栄を送ると同時に、スカウトの「ぞなえよつねに」をもう一度考へてみたいと思ひます。

「ぞなえよつねに」は、口で何辺囁いただけでは駄目です。こつこつと休まずたゆまず、何辺も——努力を繰返し繰返してゐる実行の力となるものなのです。あつち、へりくたつた気持で、日々善行を、そして、隊の歴史を作つていつて欲しいと思ひます。

ボーイ・スカウト東京オ四隊としてかかげた灯は、それを次から次へと受け渡して行く時に、消すことなく、芯が絶えたり油のきれることなく、幾星霜を明るく——燃えつづけて行くだろうことを期待し祈念しつつ筆を置きたいと思ひます。

ボーイ・スカウト東京オ四隊彌栄！

オ四隊の皆様

十周年お目出とう

大 屋 政 夫

幾時十周年記念日を迎えた皆様は心よりお慶び申し上げます。オ四隊が十周年を迎えたことには、ボーイスカウト運動が日本に再発足して以来十年を経たことになつて居るわけですね。全国に数多くある隊の中で十周年を迎えた隊は少ないでしょう。

小嶋先生を初め親会の皆様、及びウィリアムス長等の御指導のおかげで、

隊の歴史を築き上げてまいりました。スカウトの歴史を築き上げてまいりました。隊の歴史を築き上げてまいりました。

えていたのでした。二れこそ本当の勇敢と云つものです。状況を適

小崎先生を初め教会の皆様、及びウイリアムス氏等の影の力があつて今日の中四隊が築き上げられたのでしよう。

ふり返つて見ると築隊当時の今井隊長、ウイリアムス氏の大いなる指導、援助が中四隊の基礎を造り、その上に隊員諸君の努力と協力とが加わり、今日の様に立派な記念日を迎えることが出来たのですね。過ぎ去つた時間は、今後の時間と比較して非常に短かく感じられることですから、今後とも努力と協力を忘れず立派な隊となつて行くことを希望致します。

私の知る隊員の人たちは、もう立派な人間となつて指導者となり、或は、社会と云う大海へ漕ぎ出て活躍をして居られることでしょう。何か思い出せと云う希望の体でしたが、改めて思い出と云われて見ると非常に断片的に次から次へと思い出されて来て、まとめることが出来な状態です。私がお手伝い致したのも非常に短かい期間であつた為かも知れません。今井隊長が、米國に行かれた向のことです、すでに今井隊長、ウイリアムス氏の努力に依り基礎が出来上つて居りましたし、亦当時の隊員の方々は皆立派なスカウターでありましたので、私などの指導は必要でなかつた位です。微力ながら指導者として名を連らぬさせて戴けたことに對し感謝致して居ります。次に感じたことを少し書かせて戴きます。『せやえよ常に、非常に良い言葉です。本當にこの言葉は私たちに對して明るい希望を与えて呉れます。失敗した時などまだ自身の勉強が足りなかつた。もつと努力しろと云う様に聞えて来ます。今日が過ぎて行く、明日を予測することは困難でしょう。予定は出来ませんが、自身だけで毎日を送つて行くわけに行きませんから、明日の予定は出来てもその通り時間は経過して行つて呉れないのが当然でしょう。予測出来な

本に再発足して以来十年を経たことによるわけです。全国に数多くある隊の中で十週年を迎えた隊は少ないでしょう。

い様な事態が発生した時、スカウト時代に身に付いた、せやえよ常にの活動が役に立つわけです。

毎日無駄なく送り、私達を踏み越えて立派な人間と云われる様、日本一のスカウトに成つて下さい。

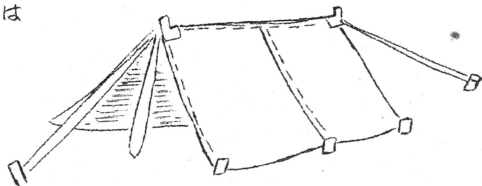
諸君の行く先には常に太陽と星が輝いて居ることを忘れてはいけません。努力と協力は如何なるものも押しつけて行く力です。

最後に諸君の繁栄と強栄とを心より祈ります

たどたどしい

あしあと

リーター
白井喜久子



「現在の我が四団に、創立当時を語つてくれる人が一人も居ないのは残念である」と、これは日頃の事である。しかし、創立当時も現任も変わらず、四団の為に祈り励まして下さる先輩のある事は、忘れてならぬ事であるし、感謝している。多くの良き先輩に見習いつつ、現任迄歩み続けて来た四団を思う時、如何に小さな力でもそれがくり返され、積み重ねられる事によつて、少しづつより良き結果を生み出されるのを感

い、感無量である。

今では一番古様になつた私が入団したのは八年半程前である。当時は、日本連盟が正式発足する前年の事として、現在の杯なスレーとエンジの配色良いユニフォーム、木ツカチーフもなかった。黄緑と濃緑の二色に分かれた木ツカチーフを、思ひ／＼の服装の上にナヨロリとしているのがカールスカウトの目印だつた。

私が初めて参加した夏期キヤムス、これは団にとつては二回目であつたが茅ヶ崎の小崎先生の別荘で楽しい共同生活をした。しかしキヤムスに行く前が大騒ぎだつた。と云うのは、おそろいのスラウスを作ろうじやないかと云う事になり生地をまとめて買ひ、今は大阪にいらつしやる小安さんの指導で型紙をとリ、女の子といえども針を持つのが嫌いな我々も必死にフレンチスリースに立袴と云う前単をスラウスに取組んだものだつた。白いおそろいのスラウスに、濃液の緑の木ツカチーフをした我々の姿を想像して下さい。喜びに輝き希望に充ちていた姿を。

そのキヤムスに参加した者が誰一人忘れる事の出来な一人のスカウトがいた事を紹介しよう。後にアメリカンスクールへ転校して団を去つた土肥さんである。彼女は実に泳ぎの達人で、膝下位の浅瀬でバゴロの称にビチャ／＼しては志水さんや私などは崇拜してしまつたのだが、その彼女が相当深い所で騒いでいたと思つたら姿が消えてしまつた。いつ迄もあらわれな。よく見ると股間に足の先がエラ／＼してはいるのが見える。ハツと思つた瞬間ニタツと彼女があらわれた。何者水の中で並立ちを見てくれと頼んだ訳でもないのに、やつて見せてくれた彼女は得意嬉しかった。夜が又大変だつた。自由自在、思う存分活躍する彼女の足は、向う三野河降り

の頭、お腹、胸と攻めて来たのだ。

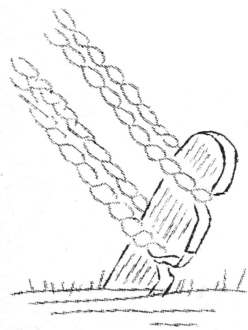
二回云う想ひ出は、その翌年のキヤムス又その翌年と続いて行くのだが、今は昨年のハケ岳キヤムスは特に想ひ出に残る。

カレイのユニフォームにアニメのズボン。エンジの木ツカチーフが女の子らしく見えるのでちやで、このキヤムスに参加した者は、高塚先生、御父兄をも加えて三十七名。

一回目のキヤムスよりすうと夢に描き、理想としていたテント生活の四日間を、多くの外部の方々の援助も頂いて実現出来た。

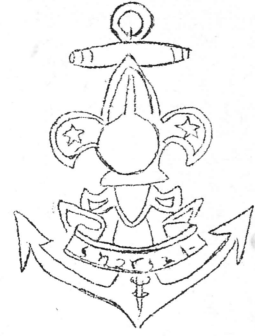
エンジのカレーライスは最高の御馳走であり、せまりテント内に上手に寝たつもりなのが、朝起きてみたら子ヨイト帽子が落ちていたり（これは日市瀬さんの体験）別荘とは大差勝手が異なつたが、とにかく茅ヶ崎海岸からハケ岳山麓で十一張りのテントを設営するに至る迄に成長したのだ。

茅ヶ崎では、最年少で仮入団スカウトだつた太田、黒部、葛井さん達が、訓練に訓練を重ね、又、葛井さんはスイスでの国際的な体験をもし、それ／＼立派な指導者としてハケ岳で活躍した。その間は七年向である。我々の歩みは、たゞ／＼しいものであつたが、絶ゆる事なし神の愛の尊きを唯感謝するのみである。



イ・スカウトの「ちかひ」のおきての諸記及びその実践。種々な事と互る結果法の完全実修。国旗及び国歌について学ぶこと。露石

もなりのに、やつて見せてくれた彼女は得意坊だった。夜が又大股
だった。自由自在、思う存分活躍する彼女の足は、向う三軒両隣り



誠者

君のシー・スカウト隊入隊希
望の手紙、拝見致しました。

御手紙の中で、シー・スカウ
ト隊のことについて、色々と質

問していただきました、それに御答を致します。

シー・スカウトはボーイ・スカウトの年長者(年令十五才以上二
十一才未満のスカウト)を対象とした年長隊の一つの有り方です。

年長隊には、普通シニヤー・スカウト隊と呼ばれる年長隊の外
に、海洋訓練を主とするシー・スカウト隊と、航空訓練を主体とす
るエア・スカウト隊の三つに分かれています。

日本には現任のところ、シー・スカウト隊は、東京や四隊一ヶ隊
しかありません。勿論、私たちシー・スカウト隊は、ボーイ・スカ
ウト日本連盟に加盟し、登録されています。更に、日本連盟を通じて、
國際事務局に登録されて居り、世界のスカウト連と兄弟愛に結ばれ
ていることはいうまでもありません。ボーイ・スカウトの「ちかひ」
「おきて」は勿論、そのまま私たちシー・スカウトの生活態度であ
ります。更に、私たちシー・スカウトは、海洋生活をする上に必要
な、次のような生活細則とも云うべき、誓約をもっています。

「私はシー・スカウトの名譽にかけて、海難事故防止に最善を盡
し、海の提「婦女子優先」を常に心懸けます」

さて、君が仮入隊を許され、仮入隊員となると、兎もスカウトに
なるために、次の様なことを憶え、實踐しなければなりません。ボ

ーイ・スカウトの「ちかひ」「おきて」の暗記及びその実践。標語

「せむえよつねに」の實踐。モットー「日々の善行」の實踐。十五
種に互る結索法の完全実修。国旗及び国歌について学ぶこと。礁石

の使用法。救命胴衣の着衣法。エニホームの正しい着衣法等であり
ます。これらのことを、全部勉強し、試験に合格すれば、君はスカ
ウトとして登録され、真白なエニホームに身をつまむことが出来る

のです。そして更に、上級の課定、即ち、セイル・スカウト、スク
リユウ・スカウトをして、最終目的である舵輪スカウトへと、技能

を磨きながら、進んで行くのです。これらの訓練は、すべて隊の集

会中に、或いはクルーの集會に於いて、更に君の余暇のフロツエフ
トの中に行われていくのです。

スカウト自身で計画された年間フロスラムにより、毎月のテーマ
により、そのフロスラムの担当者を決め、フロスラムは履行され、
隊は成長していくのです。

君が入隊を許される、ということは隊を運営していく責任が与え
られるのです。

手紙の中にあつた訓練艇についての質問に御答を致します。君は、
航海訓練所の帆船、日本丸を御存知と思ひます。純白の船体、古風
な帆船、世界最大のセイル、シツズです。私たちの訓練艇は、元二
の日本丸に備えられていた救命ボートです。長さセ・ニ米、巾二・
血米、深さ約一米の大きさで定員は約四十名ということですが。この
艇は、ボーイ・スカウト東京四隊創立十周年記念の事業として、完

全に改装することになっています。

四面海に囲まれた日本は、海を知らなければ、海外の諸國と伍し
て進むことは出来ないと思ひます。暑い夏の新報にのる、痛々しい

海水浴の溺死事故、暴風雨のあとの漁船の遭難事故等々海難事故は実に多いのです。このような水による事故を、幾分でも少くし、海にゆく人々の苦勞を学び、海を愛し、自然を愛し、全てのものの創り主を海を通して、自然を通して知り、愛することは、私たちに必要なことだと思ひます。

二の世を少しでも、住みよいものにするために、又、ベーデン・パウエル卿のボーイ・スカウト運動に捧げた熱情に答えるために、君が一日も早く、良いスカウトとなり、世の中に小さな愛の手をさし延べ、大人になつてからの、幸福な生涯のために、「やなえ」て下さい。幸福な生涯とは、人を愛し、二の世を愛し、神を愛し、く生活だと思ひます。その様な生涯のために、若い中に出来る多くの技能を身につけて置いて下さい。

隊集会は、土曜日、一四〇〇よりです。同封の地図により場所は明瞭と思ひます。

土曜日の午後二時、隊ルームにて御待ち致します。

神林の御慮が、豊にあります様に。

シー・スカウト東京四隊

スキップー 石川 正 己 様

創立当時をかえり見て

沖田隊リーダー 今 田 富士雄

昭和廿二年二月廿二日午後二時、靈南坂教会にボーイスカウト東京四隊誕生す。

阿と二の字の続く華だろう。矢張り杖々には流れての重荷へオモニ

を貰つて立つ使命があつたのではなからうか。

二月廿二日は、我々全スカウトの父である創始者ベーデン・パウエル卿の誕生日に当り、今年には生誕百年及びボーイスカウト創設五十年記念の世界大会が、発祥地であるイギリスで開催される事は、我が四隊が十周年を祝う以上に祝福さるべき華である。

今しばらく四隊の創立當時を想ひ起してみたい。昭和廿二年と云へば未だ終戦後一年半を至過ぎたばかりであり、当時の小中学生にとつて遊ぶ道具はあるか、食べ物にも事欠いていた時である。スカウトのユニフォームはあるか、隊号旗一つにしても自分達で工夫して作る以外に方法が無く、カーキ色の学生服が幅をきかせていた。現在のスカウトとの共通点は、僅かに黄と青のネツカチーフのみであつた。

スカウトの種が播かれたのは二月十六日の青少年隊集会后に、初代隊長の今井氏、及び良き援助者であつたウイリアムス氏が紹介され、二十二日には、わし班、ライオン班の二班でスタートが切られ、三月十五日には西條小学校五年のタールス（石田、香木、遠山の諸兄）と合併し、二十名足らずのスカウトが、ポケットブックも何も無く参考書としてアメリカのハンドブックを各々で訳し研究し土曜日の集會に発表しあつた。

全ては自分で開拓する華ばかりであつた。我々は懸命に種々の科目に取組んで行つた。

或る日、隊長から五月十七日に神宮外苑にてラリーが行われるが四隊からは火起しと、ナワ結びを出すとの話があつた。期間は一ヶ月余で、聞けば二十種のナワを一分向以内で結び終る華、二本のマツチを使って詣の水を五分以内で沸とうさせる華、その日から、

何と二の字の続く事だろう。矢張り我々には流ての重荷(ハオモ)

杖々の猛訓練が始まった。隊長の家に日参して、若菜全ホチヤンピ
オンの荒巻氏の指導をおおぎ、一方、外では火起しの練習、これが
一段落着くと必ず英語の勉強をさせられた。

ラリーの日が来て、我々は初めてネツカチーフを巻いた。学生服
のすそをズボンの下に押し入れての出で立ちであるがフライドだけ
は充分持っていた。此の日は重太子殿下、少年の町の散つラナガン
神父がお見えになり、他隊のレクリエーションに混つての杖が四隊
のスカウト技能の紹介は注視的であった。

当時は、テストケースとしての隊であり、東京に五隊、横浜に二
隊の百名足らずのスカウトであつた。

それから十年、四隊の今日あるは当時のスカウトが真に良き隊長
のもと、一丸となって困難にあたり、常にスマイルを以て後進を指
導したからに他ならぬ。

最後に今井初代隊長、歴代指導者諸兄に豊かな恵みのあふんこと
を。

最初のハイキング

川 崎 喜 代 子

豊崎坂教会のガール、スカウトがあつた幼稚園の御趣に誕生して、
お一回のミーティングが持たれたのも、ついにこの胸の襟に思つて居
りましたのに、もう十才の御誕生日を迎へ、こんなに大きく立派に
成長していらつしやるのを知つて心から嬉しく思います。晴れた日
は幼稚園の御庭で、雨の日は御部屋を拝借して、救急法を練習し、

月余で、雨は二十種のナワを一分間以内で結び終る事、二本のマ
ツチを使って詣の水を五分以内で沸とうさせる事、でその日から、

歌を唱へ、ゲームを遊んで大いに喜ぶ事、
いらつしやつて下さつたミス、ギヤスケルを飲んで、その頃は、
約束も。おきて、も歌も殆んど英語が使われました。朝子先生の
美しい御歌の指導が今でも懐しく想ひ起されます。その充足したば
かりのガール、スカウトが行つたお一回ハイキング、奥多摩鳩、兼
の飯盒炊飯記を、御紹介したいと思ひます。その時のリーダーには
、小崎朝子先生(現在芹野牧師夫人)、ミス、ギヤスケル、そして
このハイキングには、故塩野先生も参加して下さつて總勢十数名は
、午前十時過ぎ、多摩川の流れの美しい鳩の巣に着きました。物資
に乏しいその頃のことでしたが、飯盒炊飯の爲に、一回それ(御
米や御野菜を入れた荷物を持ち、胸を腫らせておなか賑やかを非
でした。初夏の穂やかを日、私達は持場を決め、流れに入つて御米
を淘ぐもの、御野菜を洗ふもの、かまどを石で造るもの、水を集め
に行くもの等々、今迄御庭を練習していた事を練習しはじめました
。かまどを作る人達は、風向きを調べ如何にして上手く火を燃やす
かと苦心してします。流れに入つた人達は、川石が舌でつるくす
るといふのでキヤア(大変なさわぎです。さちやがて、御米は
無事に飯盒へおさまり、立派なかまども出来ました。山へ行つた人
達で集つた栢枝にいよく火がつけられて……さも前日に雨でも降
つたのでしようか、おかげで焼けどなかくに火は燃えてく小ません
。涙はホロ(、喉はゴン(、それは(大奮斗の結果、よう
やくパット燃え出しました。その時は、みんな大喜び、だつてもう
御飯はペコ(だつたんですものね。やがて御飯も出承上り、御野
菜もすつかりきざまれて油で炒めるばかりという時です。急に辺り
が暗くなつたかと思つとザツツと降り出した雨、その上雷まで下

口／＼と意地悪い音を立てはじめました。雪嫌いの私は、一番先に
逃げ出したのですが河原の草です詰は場がありません。荷物を抱え
てやつと誰かが見付けてくれた大きな岩盤に避難した時は、もう本
降り……これでも木が湿つていたわけもわかりました。聞けばこの辺
は、一日に一度は必ず夕立があるとの事です。さもないと二つに
風流を隠れ家へ（？）を見出した私達は、この岩屋を天の岩屋と命名し
て、数々の輪唱に時の経つのを忘れしました。静かな湖畔の森の蔭
から、や、鐘の音きれいにきれいに聞える夜です。等々、美しい歌
が雨の河原を流れて行きます。さしもの雷も、我々スカウトの覆い
が届いたのでしょうか遠くへ去り、小降りになった空から明るく光
も射して来ました。という様を失敗談（？）もありましたが、ともか
く楽しい思い出を残して興多摩ハイクも無事に終り、一回元気に家
路に着きました。もし機会があれば、私達を思い出させてくれたあの
天の岩屋をもう一度訪れてみたいと考えております。

キャンフ。雑感

ボーイスカウト 大谷 徳 義

朝六時起床、勇ましいラッパの音と共に勢い良くテントをとび出
した。すが／＼しい山の空気を吸いながら、まだもの暗れやうぬ
山々を眺めながら冷たい小川の水が頬をすべる。

夏休みのキャンフ、太陽が山々の向うから真紅の空を見せ始める
頃、僕等は朝食の用意を始める。

火をおこす。パチ／＼音を立てながら冷たい朝の空に昇って行く
。そして山の一隅が紫色に染められる。その中に元氣よくかいく／＼

しくけく姿、玉ねぎを煮がす泣き面、ギョウリをぎざぎざ真剣煎、
太陽の光が僕等の姿を包む頃、飯盆の蓋が音を立て始める。

朝食だ、僕の最も楽しい時の一つだ。（高い杉の根元を流れる湯
気）丸く並んだ楽しいそうな顔、顔。山の御飯はまだ格別の味である
。溪谷の水をはねかえす頃、太陽は真上から照りつけ、陽にやけた
真黒な顔体を作り上げて行く。空も山も、深い谷もコバルト色。川
岸の岩だけが白くキラキラ輝く。そして日光はますます、大きな音を
白く熱くして行く。

楽しいハイクに鐘乳洞にも行つた。高台から見ただ秋父山塊は、美
しい遠々にスカウトサインを見つけたから楽しく鐘乳洞へ行つた。

ローソクの淡い光だけをたよりに鐘乳洞へ入つた。壁を這いまわ
るのは石灰水だろう。

ひんやりした空気に身をひたして外へ出た。帰りには来た道を引
き返し、薪を拾いながら帰つた。

昼の食事作りが始まつた。炎天下で火をあしらうことは、正に苦
しみの極みである。流れる汗は目にしみ、煙も目にしみる。焼けた
皮膚はヒリ／＼うつく、それにしても煙の奴はちつとも遠慮しない。

夕焼けが空を染め、蟬の声も止むと、あたりは暗くなり、昼
間の暑さはどにえやう。涼しい風が屋根を下つて来る。岩、木、水
に音をたせ、木の根に頭を横にして歌等唄つた。頭の上の重り合
つた葉が優しく音をたてる。なんとなく淋しさを感じさせる。

キャンフファイアー、真赤に燃える火を囲んで赤い顔は皆楽しそ
うだ。夜鷹のけたましい鳴き声や、山頂から上り始めた月を仰ぎ
見て、岩、空をも突き抜けとばかりに、深淵とした夜の空気をふる
わせ、大声で歌い笑い合つた。

火をおこす、パチ／＼音を立てながら冷たい朝の空に昇って行く。そして山の一隅が紫色に染められる。その中に元氣よくかい／＼

見て、皆、空をも突き抜けとばかりに、深淵とした夜の空気をふるわせ、大声で歌い笑い合った。

帰る日になると、キャンパス地を離れるのが惜しかった。皆黒く焼けた。そして丈夫どうな体を東京支持って帰るのだ。住みぢれた山々、見届かた林が目に飛び込んで来た。……そして感謝を残して僕等は山を下ったのだった。

思 い 出

ガール・スカウト 田 中 富 江

私が、G・Sに入りたいと思ひ始めたのは、小学校五年頃からでした。水晶宮に集まつた少女達のように、B・Sの兄が羨ましくて、「女のボーイ・スカウト」になりたかつたのです。父母は、これ以上お嬢様になられてはと——これは諷刺でした。G・Sとは「お嬢様」と「しどやかさ」の使い方を教えてくれるところでした。——女のB・S、つまりG・Sと云うのがあることを教えてくれませんでした。それに、その頃のG・Sに小学生は、はいれなかつたので、二年位オアズケをさせられました。

私が入団を許されたのは、丁度、四田のお誕生日で、ケーキには、五本のローソクがだてられていました。「良いスカウトに育れますように。」と祈りながら、ローソクの火を、吹き消したのでした。が、うまく消えませんでした。

そして、私にとつてはスカウトでの最初のキャンパス、退屈な教会のサマー・ハウスでの三日間を過ごした後で参加した軽井深キャンパスは、いろ／＼な思い出を含んで、此の上なく楽しいものでした。参加したスカウトは、たつた八名と云う、現在の田のキャンパスから考えると実に小規模なものでした。軽井深の山の家では本当に楽しい

ことばかりでした。足の長いクモ（アメリカではこのクモのことを足ながおじさんと呼びます）がいて、こわくてキャンビンに入れなかつたこと。朝四時に起きて、いねむりしながら見晴台まで御承光を拝みに行つたこと。荷物を積みすぎて貸り物のリアカーのタイヤをクニヤ／＼にまげてしまつたことなど。まだあります。飲料水を供給してくれる小川が汚く使用されているので、櫛入れの手つきながら一生懸命に、立て札やしきりを作つたこと、キャンビンまでの歩きにくい、細い山道に階段を作つたことなど、思い出せばきりがありません。

帰りの汽車が上野駅に着いたとたん、ものすごい落雷に会い、駅が真暗になつてしまつたことなども、今となつては思い出の一つとして私の胸に残つています。この時から教回、いろ／＼なキャンパスに参加し、毎毎に戸外生活の技術を身につけていく私ですが、やはり、なれぬ手つきで苦勞しながら作業をした最初の軽井深キャンパスは、いろ／＼と楽しい思い出を残し、忘れることの出来ない楽しいキャンパスでした。

あれから六年、雑巾みたい巨細旗を得意になつて作つていたキッズさんが、リーダー。初めて参加した軽井深のキャンパスでは、一緒に赤ん坊扱いをされていた太田さん、藤井さんが、今は副リーダー。スラウニーが出来、シニア・スカウトらしきものも出来、小学生でもスカウティンズに参加出来るようになった今日、満十のお誕生日を迎え、本当に、心からうれしく思つていきます。

十周年に憶う

カヌスカウト・リーダー 杉原 正

心より十周年を祝す。

想ひ起してみると、私もスカウト、スカウターとしての生活も十年に存らんとしている。長い様で短い時の流れである。

今、想うと感謝の気持ち一杯である。良き指導者、先輩の御指導を受け、独りっ子という弱い面をスカウト生活は補つてくれた。

現在カヌ隊長として奉仕させて載っていることも、それに生かしている。

十年の間に受けた感謝と喜びを、次の時代の人々に受け継いで欲しいという願いかうでもある。

我が四隊の正史に於いて、今田隊長を始め、渡辺副長補に至るスカウト生活に自信を持たれた方々が、多く輩出された。願わくば、スカウト生活に於いて、全部でなくてよい。一つ自信のあるもの自身につける様に希望する。訓練の苦しさや、楽しさを遙びて、カ四隊の正史はここにあり。

しかし今、一息しかつたなあした一言につきてしまふ。與に不思議なことだ。二度と行くまいと思つたキャンパスやハイギンズに再び喜んで参加してしまふ。きつと何物かあるのだ。スカウト自身自身で知ろうではないか。そして、良きスカウトとして前進されることを祈る。

良きスカウト……世の人々に喜ばれる人になることだ。正史に

しりぬが、この十年の基盤の上に立ち、共に努力して行つてはなにか。豊南坂スカウトの特色としては、やはりチャーチスカウトである。外面のユニフォームと、内面の信仰とから成つてゐる。希望がありスカウトとしての自信を、又持たせてくれるのだ。この特質を豊南坂のスカウト生活のうちに、スカウト一人、一人が持たれることを心より祈る。

我々、カ四隊のスカウト生活からこの特質を切り離すことは、絶対に出来ないのである。この十年の正史、伝統に則つてゐることのないスカウト生活を、踏づくことのない様に、一生運つて行つていこうという決心を、新たに十周年にあつて持つて行つてはなにか。



フラウニーって
なーに？

白 井 喜 久 子

フラウニーって言葉を聞いた時、みちさんはあゝあの赤い帽子を被つてゐる女の子達だね、とすぐお思ひになるでしょう。

カールスカウトの妹達にフラウニーと名前をつけて下さつたのは、スカウト運動の創始者ベーデン・パウエル卿です。

昔からイギリスの家庭にはフラウニーがいました。でも誰もその姿を見る事は出来ませんでした。何故つてフラウニーは森に住んでいて、家の人間が全部寝てしまつてかう二つ降りやつて来る小人に
なつたから。

うぐわつて善い事をする小人だつたのよ。

イギリスのある小さな村に、トミーとベティーと云う可愛い兄妹

豊南坂教会にフラウニースカウトが誕生したのは、昭和廿九年で

イギリスのある小さな村に、トミーとベティーと云う可愛らしい兄妹が居ました。大変ないたづらつ子でした。ある時二人は、おばあさんからスラウニーの話を聞いてどうしてもスラウニーに会い度いと思いましたが、スラウニーがどこに居るのかわかりません。おばあさんは、森へ行つて何でも知つて居る賢いふくろうのおばさんに聞いてごらん、と教えてくれました。月のきれいな晩、二人は静かな森へ行きました。大きな木の枝でホーホーと鳴いているふくろうのおばさんに、スラウニーがどこに居るか教えて下さいと頼みました。

「ホーホー、スラウニーかね。向うに見える池へ行つて水の中をのさいてこう歌つてごらん。〃林をひねつてぐるりとまわるから私に小人を見せてね。水の中をのさいてみたりムニヤムニヤが見えたりだ」と。このムニヤムニヤのところにはお前さん達が水の中に見たものを入れれば良いのだよ。」

二人はさつと池のそばで歌つてみました。水の中に見えたのは大きなお月さまと二人の顔だけでした。

でもふくろうのおばさんはこう云いました。

「お前さん達もスラウニーになろうと思えばなれるのだよ。朝早くみんなの起きて来る前にこつそりお掃除をしてあげてごらん。こつそりとお湯をわかしてあげてごらん。」

トミーとベティーは、何だかやつてみたくなりました。次の朝いつもより早く起きて、家の人の起きる前にお掃除をした二人は又床の中にもぐり込んで知らん顔していました。やがておばあさんの大きな声が聞えました。

「おやノマー。又昔の様にスラウニーが来てくれたよ。」床の中の二人は顔を見合わせてにっこりしました。

豊浦坂教会にスラウニースカウトが誕生したのは、昭和廿九年です。

サ一回目の入団式はクリスマスに行いました。「体をひねつてぐりぐりとまわるから私に小人を見せてね。水の中をのさいてみたら、私が見えました」と。一人一人が鏡の池でスラウニーを見つけ、志水先生にピンをつけて頂きました。入団式の後、お客様やお母様方とお茶を頂いている時サンタクロースがあらわれました。「メリクリスマス、入団おめでとう」と、サンタさんから色々のプレゼントと一緒にスラウニーの帽子が贈られました。その頃まだ日本連盟にスラウニーの帽子が作られてないのを知ったガールスカウトのお姉さん達が、作つて下さつたのでした。お手製の帽子は多少恰好の良くないのもありましたが、金色の縁でスラウニーの縫いとり刺しゅうのしてある。かわいらしい、暖い心のこもつたものでした。帽子を被せて頂いたスラウニーの頬は、本当に喜びに輝いていました。

想像力豊かな少女達が、それ／＼胸にスラウニーの姿を描きながら入団してからは「私は神と国を愛し、毎日人々を助け、特に家のお手伝いをします」と云う約束を守るように致します。

毎週土曜日の二時から始まる集会に、現在集まつて来るスラウニーは二十名います。

「わたし達はスラウニー

すゝんで人を助けます。

わたし達のいるところ

みんなを楽しく致しますように

この歌で集会が始まります。

ある集会では、お台所でガスをつける練習をして御飯をたいたり又ある時は庭で枝やきパンを作ったり、花壇を作ったり、外国のブラウニーへ送るスクラツスブックを作ったり、七オから十オ迄の少女に出来る鞆の活動を察しくしています。特にその特徴となり、又少女達が好んでする事に、想像的の遊びがあります。少女達は自由にもなり、大男にもなり、王女、小人、自動車、飛行機ともなつて遊びます。

私達ブラウニーのリーターは、集会が面白く、左のしく、いつも自分が何かやつてゐる事が出来、大人の干渉が多過ぎない、小さな自分達の業りとされるよう励んでおります。



ガール スカウトとは

「ガール・スカウト」といふ名は云つても、一体何のことなのかおわかりにやうな方が多いでしょう。日本にこの運動が入つてから、もう三十餘年にならうというのに、案外皆に知られていないようですね。

では、豊南坂教会のG・S（ガール・スカウト）のことをお話しする前に、日本に於けるG・S運動の歴史を簡単に説明致しますらう。

英國で始まつたこの運動は、カナダ、オーストラリア、アメリカ等、各方面に拡張し、一九二十年には遂に日本にも、固く組織されるようになつたのです。

當時は、日本女子總隊といふ名前で、女性に實際的、社会的教育を与える無因訓練がまた重要視された時代で、その光輝となり、林々の困難にも常に微笑を以て堪え、多くの盲能、健康三つ、明朗な女性を社会に送り出したのです。

オ二次大戦で、一時団を解散しましたが、戦後、再びG・S運動の必要性を痛感して、日本連盟を結成するに至りました。当時三十そこく、どつた団の救も、十年を経た現在、五百団に達しようとしています。

大ざつぱな歴史は以上ですが、では一体、スカウトインズとは何ののでしょうか。簡単に云えば、「同じ年頃の少女達が集つてスルーズを作り、面白くて、為になることをすること」です。

火の起し方、ナイフや斧の使い方、お料理の仕方をおぼえたり、ゲームやダンスをしたり、歌をうたつたり、外面のお友達と文通して友情を温めたり、又、いざという時の為に、救急法や消火法、人命救助の方法も身につけておいたら、どんなに役立つかわかりませぬ。G・Sでは、学校、教会、寺院、家庭で行う教育の手の届かない方面、即ち社会教育の面を担当しているのです。

G・Sの活動は、十一の分野、即ち、服装、美術工作、社会生活、保健と安全、家庭、国際友好、文学と劇、音楽とダンス、自然、戶外生活、スポーツとゲームがあり、初級、二級、一級と進歩する毎に、この活動分野を広く深く研究し、修得することにより、自分自身を高めると共に、進んで人の為、社会の為に奉仕出来る体、努力してきます。

私達の毎週の集会のプロセスラムは、これらの分野を大体季節によつてとり入れたものです。例之ば、二月、国際友好の月には、在日

水国守・Sと交歓会をしたり、外国のスカウトと文通をしたり、改めて、スカウト運動についての認識を深めたりします。三月や十二月のお休みを利用して、保育園で私塾に出来るお手伝いをしたり、全国助け合い運動に参加したりします。春、秋には大抵ハイキングをし、飯盒で御飯を炊いたり、独特の野外料理をしたり、かまどの作り方、火の起し方を實際にやってみるのです。しかし、何といつても一年で最大の行華は、夏のキャンプでしょう。これこそ、一年間の訓練の総決算であり、又、少女達が早くから、美しい山々と澄んだ川のある、静かなキャンプ・サイトを求めて来ましたが、昨年は、四団にとつて初めての全テント生活でした。溝を全部堀り切らぬ中に雨がザア／＼、雷がゴロ／＼で、皆、一ぺんに寝入るりたくなつたり、一日三度のめんどうくさい炊事で、お母さんの有難味が、しみ／＼わかつたり、不自由な生活の中から、採まね工夫が生まれ、皆、それ／＼何かを学びとつて、帰つて来るのです。

クリスマスには、壺崎坂のボーイスカウト、カス・スカウトとクリスマス礼拝を共にし、その後、さうやかな祝会を持ちます。歌に、寸劇にと各自のかくおたる才能(?)を御披露するものこの時です。

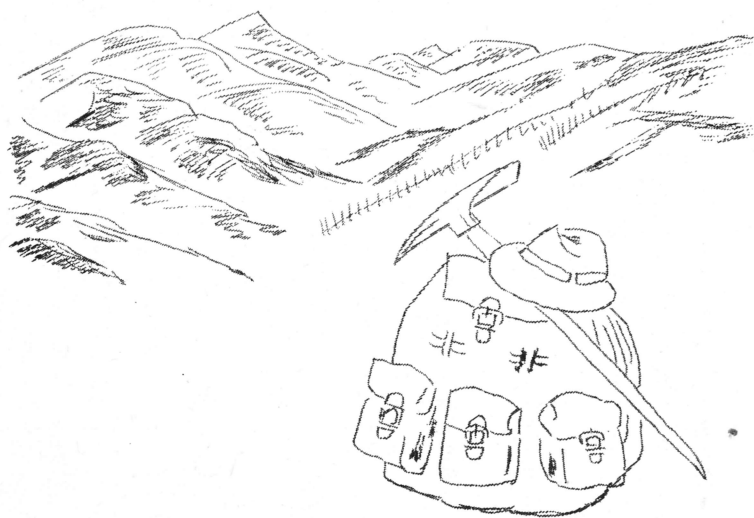
ガール・スカウトは決してお金のかかる集りではありません。毎週、土曜日の集會に払う十円の会費と、一月最低(一〇)五十円の育成会費の計九十円が毎月さまつて払う金額で、おとは春、秋のハイキング、夏のキャンプに旅費、食費が必ず必要程度です。

お友達ともすべに仲良くなれます。

「私は名譽にかけて、神と国とに村するつとめを行い、いつも他の人々を助け、ガール・スカウトのおきてを守るようにいたします。」

この「やくそく」を守り、実行出来る少女なら、誰でも、何時でも歓迎されます。

歌をうたつたり、フォーク・ダンスをしたり、戶外生活を楽しんだり、又は、いざという時に役立つ、救急法、縄結びを習つたりすることの好きなお友達は、今すぐ、テヨツとガール、スカウトのミーティングをのぞいてごらんになりませんか？



私達の

十年の歩みをたどって

ボーイ・スカウト東京四隊とガール・スカウト東京四隊が今年で丁度結成十年にあたることは、すでに御存知のはずです。さて此の長い十年と云う年月を我々がいかに過して来たか、それを御目にかけることといたします。と申しましても、余り写真がのせられませんが、皆杯が適当にその場の風景を御想像下さるよう御願いたします。では幕を掲げるといたしますよう。

ボーイ・スカウト

昭和二二年

二月一六日 教会の伝道集会后、当時中華科に居た人達は今井、ウイリアム、の両氏が紹介されました。此の時がボーイ・スカウト東京四隊のそもそもの初めでした。

二月二二日 此の輝かしい日、奇しくもB・P卿のお誕生日と同じ日に、我が四隊はワシ班とライオン班の二つの班で発足しました。此の時のワシ班の班長が、小崎忠雄さん、ライオン班の班長が荒畑恒英さんでした。

さて其の頃、芝の西枚小学校でも同じようなグループが準備されていきました。此の人達は青木さん、遠山さん、石田さん等です。

三月一五日 此の二つのグループは合併しました。

五月一七日 沖一回のラリーが神宮外苑で行われました。此の頃は東京のスカウトも非常に少なかったのです。

六月二八日 もう一班、常班が生まれ、小崎さんが班長になり、志水さんがワシ班長になりました。

七月二六日 五隊と合同で金沢八景にハイキングを行いました。此の頃のスカウトは、ユニフォームもなかったのです。皆、学生服やYシャツで行ったのです。当時、四隊と五隊はとも仲が良く八月には合同キャンプも行われました。

昭和二三年

二月二一日 一周年の祝会が行われました。

三月二九日 最初の全夜ハイクが、修善寺―伊東阿で行われました。

四月 五日 ガール・スカウトと共に食品工場を見学に行きました。

四月一〇日 更に一班ふえて、白家班が今田班長で作られました。

七月一〇日 スマイル一五号の写真で御存知のように、壘南坂教会で故ウエスト博士追悼式が盛大に行われました。

八月 二日 静岡の赤坂山でのキャンプに続いて広島大会が行われ、飯田さんや今田さんが参加しました。此の時の語はスマイル二二号に今田隊長が書いておられます。

十二月二四日 フリスマス祝会があり、皆、大きなケーキをかこんで嬉しそうに写真が残っています。

昭和二四年
二月一八日 ワシントンハイツでのカスラリーに参加。

四月一六日 東京十隊から大屋さんが副長として四隊に来られました。

六月二五日 今井隊長が日蓮の仕事のため引退され、代つて大屋副長が隊長となりました。

八月二十六日―二十六日 東横市パートでスカウトバザーが催され、四隊のスカウトも奉仕に出ました。

九月 三日 最近五十号特集を出したスマイルが創刊号を発行したのが此の日です。

十一月 五日 今田さんが上級班長となり、船瀬さんがツバメ班班長となりました。

十一月一―三日 此の頃、仏人神父が行方不明となり、小崎さんと飯田さんが捜索を手伝いましたが、残念にも発見されませんでした。

十二月 三日 当時教会学校の先生をしておられた葦原さんが副長とられました。

此の頃の四時は十年の間でも一番活躍した時で、今田上班以下大いに四隊の名を高めました。

昭和二五年

三月二八日 熱海―箱根間の全夜ハイクが行われ、当時の様子写真によって見ることが出来ます。

五月二七―二八日 国際復帰記念関東大会が築地本願寺で開催されました。

八月一―八日 新宿御苑で全国大会。

九月二九日 安川女史リサイタル奉仕。

十一月二六日 日米交歓馬術大会に奉仕。

昭和二六年

一月 三日 日の丸行進が行われ都内を練り歩きました。此の日我が四隊は、二五年度優秀隊として表彰を受けました。

右藤沢さんに交代。

七月二六日―二九日 東横の夏の村が西武園で行われ、四隊では六人のスカウトが参加しました。

八月四―八日 山形県蔵王で全国大会。

十月二七日 都連のナイトハイクに二名参加。

十一月 三日 西隊記念大会が日比谷で行われました。

十一月一九日 ウィリアムス氏の誕生祝いでチャペルセンターに招かれ、英語劇に苦心したのであります。

昭和二七年

一月 五日 連盟の一級スカウトハイクがあり四隊からも数名参加しましたが途中で道を間違え、遂には買傷者も出るは未でした。

三月 八日 国際サーカスに奉仕。

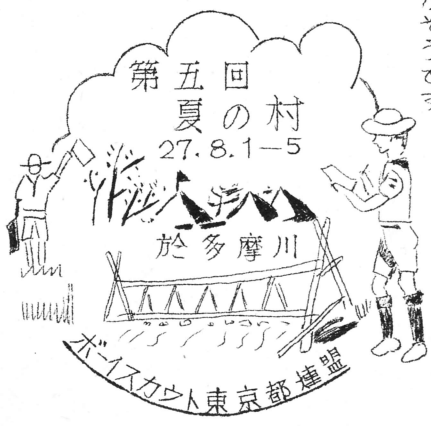
三月二八日 ヤビツ峠に全夜ハイク。

四月十九日 初めて一級スカウトが生まれました。今、ラジオ東京TVにのる田中さんなどがそうです。

七月二三―二六日 オ一回名乗キヤンフ

八月一―五日 京王多摩川での夏の村に参加つらタンスで有名になりました。

十一月 八日 文化放送出演



昭和二十八年

二月、四日

安川加壽子ピアノリサイタルに守・Sと共に奉仕。

三月二〇日

千葉方面に全夜ハイクが計画されたのですが雨天で中止となり皆がっかり。

三月二七日―二八日

高尾山へ全夜ハイク。

四月二五日

カス隊結成が決定。

七月

ヌマイル復刊。

七月三〇日

サニ回客乗キヤンス

八月一五日

文化放送に出演。

九月五日

今田隊長就任決定。

十二月十五日

日本テレビに出演。

昭和二十九年

一月一五日

部内を音楽行進。

二月二一日

共立講堂に於て春の大会が開かれ、四隊は五六隊と

三月三〇日

南多摩サ四隊のある日野台で、二級スカウト訓練キ

ヤンプスを行う。

三月三一日

七生村で一級特別訓練。四隊からは石田、安積の両

君が参加。

四月一三日

朝日新聞社で秩父宮妃、高松宮妃等の方々の前で救

急法のデモンストレーションを御目にかかりました。

五月一〇日

在日米国スカウトの進級式に出席。

五月二五日

レスリング世界選手権大会に奉仕して国旗を掲げま

した。

六月一九日

安積君、名誉スカウトに決定。

七月二六―三〇日

埼玉県若荷指でキヤンスを行いました。これ

にはカヌスカウトの月の輪の八蓮が参加。

十月四日

東京都体育館で全国青年大会が開かれ東京のスカウ

トが参加しました。四隊から参加した、今田、杉原、青木、渡辺

の四名は帰途、外務省分室に起つた火災に駆けつけ大活躍をしま

した。

昭和三十年

一月七日

ローバースを作ろうと云う動きが起り、新年会を南

きました。

二月二〇日

カヌスカウトは日本テレビに出演、小さなボーイ

・スカウトとして放送されました。

三月二七―二八日

子の権現―豆口峠にガール・スカウトと共に

全夜ハイキンス。此の時は雪が降って寒い思いをしました。もつ

とも、磁石を逆に見て道を間違えた人が悪いのですがね。

四月二日

志水カヌ隊長北海道へ。

五月三日

春のハイクが百草園方面で行われ、B・S、C・S

と同じような所へ行つて来ました。

六月一七日

単スカウト誕生、渡辺君と高橋君の二人です。

七月二八日

富士特別訓練が山中で行われ、四隊からは高橋、宇

田、加藤彰、渡辺の四人の一級

スカウトが参加しました。

九月一四日

年長スカウト設置

が決定。

十一月二六日

シー・スカウト

結成式が行われ、石川アドルフ

富士訓練マーク



イサーのもとに日本で最初の正式なシー・スカウトが出来ました。
昭和三年

一月一日 都内青少年団体の行進。

七月三日 シー・スカウトの高橋準一君はシー・リフト・スロ
ジエクトによつて米國を訪問しました。

八月 三日〜七日

最初の日本ジャンボリー
が松井沢で行われ、世田谷
国から多勢のスカウトが参
加して楽しい数日を過ごした
のでした。



ガール・スカウト

昭和二年

六月一日 ミス・ギャスケル、ウイリアムス氏等御出席のもと
にキ一回のミーティングが開かれました。松島南坂教会祈禱堂。

八月七日 四田最初のハイキンス。目的は興多摩。夕立に会
い、飯盒炊爨は駄目になりましたが、楽しいハイキンスでした。

十二月十六日 朝子先生のお家でクリスマスパーティー、各自材
料を持ち寄つて、さつま汁を作りました。

昭和二十三年

一月 六日 ボーイ・スカウトと合同で目黒の厚生寮を慰問。

六月二日 四田結成式。一周年記念のこの日、正式に東京キ
四田として認められました。入団者十四名。

八月一六日〜一八日 茅ヶ崎キャンパス。

十一月四日 立教女学院校庭に於て、東京G・Sラリー。
十二月四日 現在のリーダー白井さん、志水さん御両名はこの
日入団されました。

昭和四年

一月一日 二の年から成人の日が定められたので、二子玉川の
鈴木長老宅にハイキンス。粉を持ち寄り、ビスケットを焼きまし
た。

二月二六日 Thinking Day。A、Eセンターに於て日米合
同の会が開かれました。日本舞踊、フォークダンスなどを楽し
ました。

五月 四日 橋本姉が副リーダーとして四田に来て下さりました。
歌を教えて下さるのがお上手リーダーでした。

六月一日 才三回お誕生日会。寸劇、歌、ゲームなどを楽しん
だ後、組長さんが腕をふるったチキンライスをごちそうになりま
した。

昭和五年

二月二五日 Thinking Day。アーミー・ホールで日米
合同の会が開かれ、映画を見たりしました。

三月 四日 おひなまつり。十三田の方たちを招待しました。

三月三十一日 新宿御苑へハイキンス。現在のヌラウニー級です。

五月二七日 子供の家(機患子寮)慰問。

六月一日 四田お誕生日。自分たちでビスケットを焼きまし
た。

六月一七日 麻布社会事業会館に於て、G、Sのお誕生日。野口
先生歓迎のラリーが開かれました。

七月一五日　まだ脚股が若い時代だったので、キャンパスに行く為
お揃いの白いスラウスを作りました。

八月七日一九日　キャンパス。茅ヶ崎にて。海の中で遊立ちをした
り、寝送りの悪い人が居たりした悪い出の多いキャンパスです。

昭和二六年

八月八日一一日　軽井沢キャンパス。教会のサンマー・ハウスに
二泊、B、S、G、S山の家に一泊、軽井沢のボーイ・スカウト
がキャンパスファイヤーに飛び入り、「ピツカリオホシサマ」なる
歌を習いました。

九月二九日　米国に於ける世界青年会議に、G、S日本連盟代表
として出席された国行さんが帰国されて、お話しをなさいました。
十月二七日　ボーイ・スカウトと合同で子供会を主催。

十二月二六日　朝子先生のいっした奥舟保育園に奉仕をしました。
昭和二七年

一月五日　ミス・フロアの歓迎会を兼ねた日米合同ラリーが立
教女学院で行われ、参加しました。

一月一九日　市川に在る精神病院をB、Sと訪問。

四月五日　講和記念日日米ガール・スカウト交歓会が光輪園で
行われました。四団では「シタキリスス」の劇を演じ好評を博
しました。

五月三日　奥多摩燧ノ巣へハイキング。道しるべを大いに利用
したハイクでした。

七月三〇日一八月九日　二の宮キャンパス。副リーダーの岡本さん
の別荘を拝借し、毎日波の荒い海岸へ泳ぎにいきました。
十一月十五日　立木子礼奉祝都民大会に参列。

一月二二日　B、Sと合同クリスマス祝会を行いました。

昭和二八年

二月四日　安川加寿子、アノリサイタルに奉仕
三月二日　アメリカン、スワールでの米国G、S入団式とお茶
の会に招待を受けました。

三月七日　ガール・スカウトの集い。ミセス、ラッセルにマン
ストゲームを教えていただきました。

三月一九日　日赤を訪れ、沖縄への贈物をとりました。四団か
らは国行、小安、田中さんの三名が出席しました。

三月二一日　小安副リーダー送別会。

四月四日　国際スカウトの集いが明治記念館で行われました。
歌やおどりの画歴色豊かになつ。ロスマムが組まれ、ピンの交換を
する人も居ました。

四月一八日　国行リーダー、白井、志水副リーダー決定。
五月一〇日　母の日。聖行陛下に花束を贈呈するお母さん達の先
導役、四団からは二名出席。

六月一三日　オ六周年のお誕生日会。

七月三十日　軽井沢山の家でキャンパス。一八名のスカウトが参加
しました。山道の階段や水の汲場のしきりを作ったりして、大い
に働いたキャンパスでした。

一〇月一一日　ガール・スカウト東京支部大会。於新宿御苑。

一〇月一八日　勝沼のストウ園にストウ狩りに出かけました。く
じしんぼの私塾も、さすがに二、三日はぶどうの摘み取るもの
やに忙しかったです。

十一月一五日　ニクソン米副大統領を羽田空港にお迎えしました。

十二月二日　毎日新聞社見学。

昭和二十九年

二月二十日 大ランドハイムの米国会、Sに招待されました。B

・S四隊のお誕生日なので、ランタンを送りました。

四月 三日 赤茶の水大で白水交歓会が開かれました。

五月 三日 名栗川にハイキング。途中で雨に降られ、近くの家

に雨やどりをさせてもらい、そこでお餅を作りました。

五月二十九日 パーシントハイツのG・Sに招待されました。

八月 四日 リーター、組長はテント張りの練習を白金三光町の

陣守邸で行いました。

八月九日ー二日 那須キャンパス。三年間、誰も住まなかったと

いう別荘をお借りしたので、おぼけが出るといつて大騒ぎをした

思い出があります。

一二月二七日 スラウニーが正式に結成式を行いました。

一二月二十九日ー三十一日 二葉保育園奉仕。

昭和三十年

一月四日ー六日 シュリエット、ロー、セツシオン参加準備訓練

に四回かうも太田、蕨井の二名が参加。

一月一五日 成人の日祝賀行進に参加。

三月二六日 スケートを兼ねる회가スポーツセンターで開催されま

した。

三月二八日 シュリエット、ロー、セツシオン参加者正式決定の

発表。正代表、堀口愛子(京都十団)、萬井潤子(東京四団)。

四団の太田直美枝さんは補欠の一人に選ばれました。代表は七月

一五日空路スイスへ向いました。

四月 二日 ガール・スカウト少女友愛の集いが有楽町朝日新聞

社で行われました。

七月二六日ー二九日 本部主催のスカウトキャンパスが河口湖畔で

行われました。我が四団は服装大会で優秀賞(2)成績をおさめた

のであります。

八月三日ー六日 那須キャンパス。

八月一四日 シュリエット、ロー、セツシオン代表帰国。

昭和三十一年

三月 三日 中田スラウニーはアメリカのスラウニーをおひな

まつりに招待しました。

五月一九日 ミス・モードが四団のミーティングを見学されまし

た。

五月二七日 支部大会。給エ・C・Uスランド。

七月二六日ー二七日 ドイツ・スポーツ少年団歓迎会に参加。真

新しい自衛隊のテントに寝ました。

八月 五日 リーター二人は折から開催中の蕨井沢のB・Sジャ

ンボリーを見学。

八月一五日ー一八日 ハケ岳キャンパス。数年来皆が望んでいた全

テント生活を行った記念すべきキャンパスです。ベタや支柱を全部

自分で作ったのは良い経験になりました。

一二月二六日 B、S、G・S、C・S、カス、スラウニー合同

クリスマス祝会。

昭和三十二年

三月二十九日 今夏、カナタで行われる世界キャンパスに参加する日

本代表の一人として四団の田中富江さんが選ばれました。六月中

は横出乗の予定。

編集を終つて

やうと此の本が出来上つて、ほつとしております。實際、編集と云ふ仕事はゆつかりなものでした。スマイル紙とは大分違いますから。最初、私達の考えたものは、今あんなに手にしていらつしやるこれとは多少違つていました。最初の案では、もつと写真を沢山いれて、皆の思い出を新たにしたり、全体を活版で印刷したいと考へたのでした。だがやりはじめると、予算の關係などの支障が出て来て私達の最初の意気込みは高すかさを喰つたような形になつたのです。

一方、原稿の方は、最初の意気はどこへやら、皆様の深い御理解によつて着々と集り、一同大いに意を強くいたしました。

快く原稿を下さつた方々に寧く御礼申しあげます。

私共大変残念に思つておりますことは、昔、隊におられた先輩の方々の原稿が、お会いする機会もないまま遂にほんの少ししかいただけなかつたことです。先輩の方々、いつもお目にかかる機会がありませんが、これから隊に来てスカウト達と一緒に歌を唄つて下さい。お待ちしております。

ボーイ・スカウトの方は残念ながら、赤ださも海外に行つておりませんが、ガール・スカウトでは、今度再び田中富江さんがアメリカとカナダへ行くことになりました。田中は優秀なスカウトがそろつていて本當に幸せです。一昨年からシー・スカウトも発足し、豊前坂のスカウトも大きく発展しました。これからは一層努力して、世界のためと暮るよつに立派なスカウティンズをして行くこつではありませんか。

発行にあつて、一筆書きをえました。

渡辺 記

創立十周年記念誌

編集者 渡 辺 澄

萬 井 潤 子

印刷人 黒 部 武 男

発行所 ボーイ・スカウト

東京市四区

カール・スカウト

東京市四区

東京市港区

赤坂壺南坂町十四

昭和三年四月二十九日発行